

新しい生活様式に基づく SSN サロン利用ガイドライン

本ガイドラインは、新型コロナウイルス感染拡大の防止と施設の開館の両立を進めるために、「新しい生活様式」の実践を図りながら、SSN サロンの利用に係る基本的な考え方を示すものです。

なお、状況の変化があった場合には、本ガイドラインの見直しなどを行うことがあります。

「新しい生活様式」とは(実践例)

(1) 一人ひとりの基本的感染対策

感染対策の3つの基本 ①身体的距離の確保 ②マスクの着用 ③手洗い

人との距離は、できるだけ2m(最低1m)空ける

会話をする際は、可能な限り真正面を避ける

外出時、屋内にいるときや会話をするときは、症状がなくてもマスクを着用

手洗いは 30 秒程度かけて、水と石けんで丁寧に洗う(手指消毒液の使用も可)

(2) 日常生活を営む上での基本的な生活様式

まめに手洗い、手指消毒 咳エチケットの徹底 こまめに換気

身体的距離の確保 「3密」の回避(密集・密接・密閉)

毎朝体温測定、健康チェック。発熱又は風邪の症状がある場合は自宅で療養

1 基本的な感染症対策を実施する

○体調不良の方の活動自粛

・発熱等の風邪の症状がみられる時や体調がすぐれない方の利用は控える。

○感染予防・感染拡大を防ぐ

・入室／再入室の際には、手洗いや手指の消毒を行うこと。

・サロン内ではマスクの着用、咳エチケットを徹底すること。

・サロン内で飲食をしないこと。(熱中症対策としての水分補給は可とする)

(サロンコーヒーやお茶の提供中止。ポットの使用禁止)

・使用前、使用後の消毒作業を行うこと。

(共同で使用する物は消毒するドアノブ、机、椅子、マイク、スイッチ、受付 PC 等)

・清掃は、タオル等でビニール手袋等を着用して行うこと。

・清掃で使用した物は、使い回しをせずゴミ袋に入れてサロンに残さず処分すること。

○「3密」(密集・密接・密閉)を徹底的に回避した上で活動する

密集しない

多くの人が手の届く距離に集まらないための配慮を行う。

(対策例)

・人の密度を下げるために、長机 1 台につき2人までとして、席の配置を考慮する。

・対人距離を確保して活動する。

- ・なるべく、対面方式は避ける。
- ・利用人数の目安は以下とする。
 - ①大声を出す事が少なく静かに使用する時、30名を超えない(但し、講師席、受付席の利用者を除く)
 - ②大声の発声が多い、またはダンスなど動きが活発な時、20名を超えない
(利用人数は「仲間の安全第一」を最優先として主催者の判断による)
- ・午前、午後、夜間それぞれの時間帯の使用にあたっては利用時間帯を厳守すること。

密接しない 飛沫を発生させないように、工夫する。

(対策例)

- ・近距離での会話や発声の際はマスクを使用

密閉しない 換気を徹底する。

(対策例)

- ・可能であれば2方向の出入り口と窓を同時に開けること。
- ・それが難しい場合でも、1時間に10分は窓を開けて換気を行う。

確認事項

- ・参加者名簿を作成し、作成した名簿はパソコンに保存する。
- ・活動終了後の会話は控え、できるだけ速やかに退室する。

2 活動の実施について

- ・開催判断の目安(参加者は最大でも 30人以内を目安とする)
- ・参加者が特定できること。
- ・会食を伴う活動は実施不可。

3 活動日の参加者を把握する

- ・参加者名簿は今まで通り作成し、パソコンに保存しておく。
- ・「利用者リスト」の作成は、その執行部・クラブの部長が参加者情報(氏名、緊急連絡先等)を把握している時は免除する。

4 適用期間

- ・本ガイドラインの適用は 2020 年 6 月 12 日から
- ・本ガイドラインは 2021 年 11 月 1 日修正
- ・本ガイドラインは 2022 年 5 月 1 日修正

- ・本ガイドラインは 2022 年 10 月 22 日修正
 - ・本ガイドラインは 2022 年 11 月 18 日修正
- ※状況の変化があった場合には見直す。

「サロン406の新しい入室方法」について

令和4年5月1日



マスクの着用 (各自でご用意願います)



入室



手指消毒 (サロン出入りの都度消毒する事)



検温

(37.5°C以上の方又は体調不良の方は入室をご遠慮ください)



受付開始 (会員証を提示)

利用確認書

(当日利用責任者が参加者情報を把握している場合は免除)

受付終了・サロン利用開始

※サロン退出時にはサロン内の清掃・消毒を必ず念入りにする事。

(消毒に使用した布類、ゴミ等はサロンに置かないでお持ち帰り下さい)